

危機管理連絡会議

日時：平成 26 年 9 月 26 日（金）20:00 ～

場所：県庁 4 階 405 会議室

協議事項

- ・ 韓国における高病原性鳥インフルエンザ発生を受けた本県の対応について

平成26年9月26日
自然環境戦略課

韓国での高病原性鳥インフルエンザ（H5N8型）の発生に伴う対応について

本日、環境省自然環境局・野生生物課より、平成26年9月25日、韓国当局から国際獣疫事務局（OIE）を通じ、韓国南部の全羅南道靈岩（ヨンアム）郡の肉用あひる農場において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N8亜型）の発生が確認されたとの通報がありました。

このことを踏まえ、本格的な冬鳥の飛来シーズンを迎えることから、「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」に基づき、現在実施している野鳥サーベイランスにおける全国の対応レベルが「対応レベル2」に引き上げられました。

1 県の対応

（1）警戒区分の引き上げ

本県における死亡野鳥の取扱いについて、警戒区分を「レベル2」に引き上げ、野鳥の監視及び死亡野鳥の検査を強化

【参考】表1）死亡個体の搬送基準について

表2）感染リスクの高い種一覧（8目10科）

（2）県民への注意喚起

動けなくなっていたり、死亡している野鳥を見つけられた場合、触ったり、近づいたりしないようにしてください。

また、回収する場合は、素手で触らず、新聞紙に包み込み、ビニール袋に入れ回収してください。

発見した場合には、相談窓口までご連絡ください。（県のホームページで周知）

◆県HP URL：<http://www.pref.tokushima.jp/docs/2014041300010/>

◆環境省鳥インフルエンザ情報

URL：http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/

（3）連絡先

徳島県県民環境部自然環境戦略課

電話：088-621-2262、設置時間：平日8:30～18:15

※休日の連絡先 088-621-2057

表1) 死亡個体の搬送基準

警戒区分	自然環境室の対応				
	鳥類生息状況等 調査	ウイルス保有状況調査 (死亡野鳥等調査)			
		リスク 種1	リスク 種2	リスク 種3	その他 の種
通常時 (レベル1)	情報収集 監視	1羽 以上	3羽 以上	10羽 以上	10羽 以上
警戒時(国内発生時) (レベル2)	情報収集 監視強化	1羽 以上	1羽 以上	10羽 以上	10羽 以上
警戒時(国内複数発生時) (レベル3)	情報収集 監視強化	1羽 以上	1羽 以上	5羽 以上	10羽 以上
県内・県境での発生時 (野鳥監視重点区域) ※発生地から半径10km以内 の区域(基本)	情報収集 監視強化 発生地対応	1羽 以上	1羽 以上	3羽 以上	3羽 以上

表2 感染リスクの高い種一覧（8目10科）

リスク種1（18種）：最も危険性が高い種		種名
カモ目	カモ科	シジュウカラガン マガン ヒシクイ コブハクチョウ オオハクチョウ コハクチョウ オシドリ キンクロハジロ 重度の神経症状が観察された水鳥類
タカ目	タカ科	オジロワシ オオワシ オオタカ ハイタカ ノスリ サシバ クマタカ チュウヒ
	ハヤブサ科	ハヤブサ チョウゲンボウ

リスク種2（16種）：リスク種1に次いで危険性が高い種		種名
カイツブリ目	カイツブリ科	カイツブリ ハジロカイツブリ カンムリカイツブリ
カモ目	カモ科	マガモ オナガガモ ホシハジロ スズガモ
ツル目	ツル科	タンチョウ ナベヅル マナヅル
	クイナ科	バン オオバン
チドリ目	カモメ科	ユリカモメ
フクロウ目	フクロウ科	ワシミミズク コノバズク フクロウ

リスク種3：リスク種2に次いで危険性が高い種		種名
ペリカン目	ウ科	カワウ
コウノトリ目	サギ科	全種
カモ目	カモ科	上記以外の全種
チドリ目	カモメ科	上記以外の全種
タカ目		上記以外全種
フクロウ目		上記以外全種

その他の種：上記に記載がない全ての種（例：カラス、スズメ、ハトなど）

平成 26 年 9 月 26 日
動 物 衛 生 課

【OIE 情報】韓国における高病原性鳥インフルエンザ (H5N8) の発生について

韓国における高病原性鳥インフルエンザ (H5N8) の発生について、2014年9月25日付けでOIEへ緊急報告がありましたのでお知らせいたします。

なお、我が国は2010年10月18日以降、韓国における低病原性鳥インフルエンザ (H7N7) の発生を受け、同国からの家きん、家きん肉等の輸入を停止しています。

出典：OIEウェブサイト (2014年9月25日付け)

http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=16153

(OIE情報は更新・差替えが行われる場合がありますので、出典元も併せて御確認下さい。)

【概要】

- ・発生数：1件 (緊急報告)
- ・発生日：2014年9月24日
- ・OIEへの報告日：2014年9月25日
- ・血清型：H5N8 (高病原性)

【発生状況】

- ・9月24日：全羅南道 靈岩郡 都浦面の農場

【動物種】	【飼育羽数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
肉用あひる	21,000	1,200	1,200	19,800	0

【疫学情報】

- ・感染源：不明又は調査中
- ・獣医当局は疫学調査を実施中

【対応】

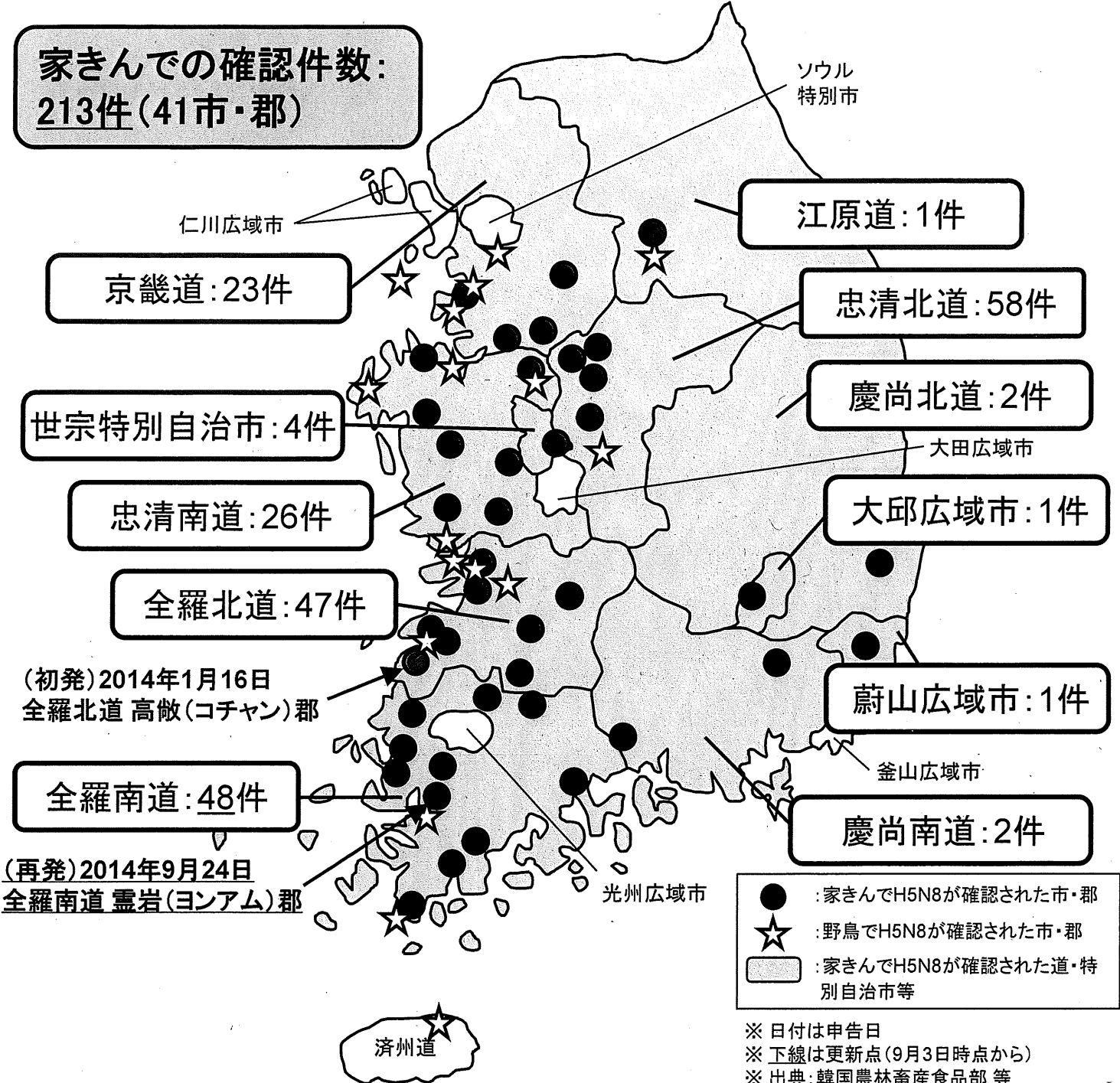
- ・宿主野生動物のコントロール
- ・淘汰
- ・隔離
- ・国内における移動制限
- ・ゾーニング
- ・施設等の消毒実施
- ・発生に対応したワクチン接種禁止
- ・患畜を治療対象としない

【診断】

- ・診断施設：農林畜産検疫本部 (国立研究所)
- ・診断方法：リアルタイムPCR、RRT-PCR、ウイルス遺伝子配列確認、ウイルス分離
(いずれも陽性、9月25日)

韓国における高病原性鳥インフルエンザ (H5N8亜型) の発生状況 (2014年1月～)

**家きんでの確認件数:
213件 (41市・郡)**

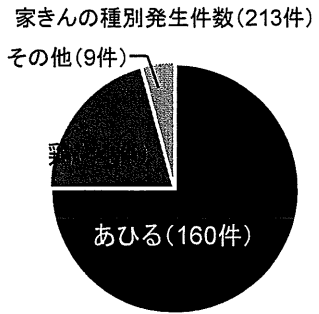


● : 家きんでH5N8が確認された市・郡
 ☆ : 野鳥でH5N8が確認された市・郡
 [Shaded Area] : 家きんでH5N8が確認された道・特別自治市等

※ 日付は申告日
 ※ 下線は更新点(9月3日時点から)
 ※ 出典: 韓国農林畜産食品部 等

【家きんでの発生・対応状況】

- 発生状況(9月25日時点)
 - 韓国当局の公表している発生件数: 30件
 - 他に、発生農場周囲・疫学関連農場等183件でH5N8亜型鳥インフルエンザが確認。
- 殺処分(9月3日時点)
 - 殺処分完了: 1,396万1千羽(548農家)
 - 発生農場、疫学関連農場、各発生農場周囲の農場(500m又は3km内を対象)
- その他
 - 9月4日、全ての移動制限が解除されたが、9月24日、2か月ぶりに再発



【野鳥での検出・対応状況】

- 野鳥検査(8月14日時点)
 - 陽性: 38件(トモエガモ10件、マガモ5件、ヒシクイ4件、カルガモ2件、コガモ2件、マガン2件、オオハクチョウ1件、ダイサギ1件、カイツブリ1件、オオバン1件、糞便等9件)
- 対応
 - 野鳥の検出地点から10km内の家きん農場の移動制限措置、30km内の家きん農場の臨床調査、周辺道路・家きん農場の消毒